

指揮や音楽創りできないオイラも辛い！

合唱指揮者・声楽家 窪田 卓

オイラ達音楽家は、コロナの影響をナイトクラブ並に受けております。家のスタジオでの合唱練習は 24 時間換気でも『三密』で自粛、中止。

本番も例えば、高声会 = ほぼ全員藝大卒プロ声楽家集団、5 月紀尾井ホール演奏会中止。いつか分からない延期、いつ感染治まるか、いつホールが取れるか、本当に困ります。スタジオでの CM 等録音(ギヤラ良い)ほぼ中止。トホホ……。

で、合唱団練習、個人レッスンは自宅スタジオでの高レベル機材使って録音録画、これを SNS(YouTube、ZOOM、Skype etc.)で配信しておりますが、見聴きして練習してくれているか不明。Skype での対話型レッスンはタイムラグに泣かれます。

送信側(指揮者、先生方)、受信側(団員、生徒さん、送信側になることも)いずれも、ある程度オーディオ機器インフラ整備が必要です。

スマホじゃ無理、周波数特性がフラットで可聴域が極力広く(倍音も聴きたい)、SN 比に優れ、正にカラオケ程度の(ドン、シャリ)NG。性能が良い(値段高い)マイク、アンプ、スピーカー(ヘッドホン可)でないと……。

発信者、受信者(歌う等して音を返す場合)の環境。ライブ = 響く部屋 = 残響時間 2.2 秒前後が理想、多目的でないコンサートホール、お風呂場等。

デッド = 響かない部屋 = 雪の草原、吸音材で囲まれた場所(畳、コート、洗濯物沢山吊るしてある等々)。

ライブ過ぎると声・音色は良く聴こえますが、シビアな音程聞き取り難い。

デッドだとやたら下手に聴こえ、ダイナミックレンジ(強弱)が分かりにくい。どちらも極端だとお互い正確適正な情報伝達、判断しづらいですね。

合唱団など集まったの TUTTI 練習は、感染拡大予防上 NG(三密、練習場への交通が問題)。SNS 利用でもタイムラグ etc.で無理！！

歌を愛してやまない合唱団員の方々、正にお辛いでしょ。現場で指揮や音楽創りできないオイラも辛い。机上で楽譜読み、アナライズしてますが、何よりオイラ、団員に会えなく『寂しい』です。

呉々も皆様、お身体お気を付けて下さいませ、後悔先に立たずです。皆様の御身体(精神状態も)健やかなることを、心よりお祈り申し上げます。

稚拙な長文(既に皆様ご存知の内容)失礼致しました。

新型コロナウイルス流行下 栃木県小山市の小学校では

男声合唱団コール・グランツ 浅川 清

2 月 27 日、安倍首相の休校要請が出るまでは、通常の授業が行われていました。ここで、全国で休校することになったため、教員は大急ぎで準備に入りました。28 日、子供達は休校中の過ごし方や諸注意等を受け、大荷物を持って下校しました。

3 月 2 日、春休み終了の 4 月 7 日まで休校となりましたが、教員は全員出勤して子供達の教材の準備、成績の処理、次年度の学級編成等を忙しくなりました。

3 月 19 日、卒業式を卒業生と保護者のみの参加で晴れて執り行うことができました。3 月 19~24 日は、学びの姿、学習課題の引き取りなどで都合の良い時に登校してもらいました。

終業式は学校によってゆったりやらなかったりのように。そこから春休みに入り、公園やスーパーなどでたくさんの子供たちを見かけるようになりました。

4 月 8 日、始業式を全員登校して執り行いました。翌 4 月 9 日、入学式は 1 年生と保護者のみの参加で開催しました。小山市では、この後、4 月 24 日まで休業、4 月 27 日より再開の予定でしたが「緊急事態宣言発令」により 5 月 6 日まで休校になっています。また教職員も全員在宅勤務となっています。

まだ収束の気配はなく、「夏休みなしで始める」「9 月から新年度を始める」などの話もあり、今後学校はどうなるんだろうかと思っています。

全日本男声合唱フェスティバル in 長野 正式に中止

『おんがく広場』第 6 号(4/15)に Keishi KIMURA さんが、全日本合唱連盟から男フェスの中止メールが届いたと書かれていましたが、4 月 20 日連盟から正式に発表されました。

夏休みの信州、7 月 18 日~19 日の土日 2 日間、全国から歌好きの男たちが集まって、歌い、飲み、語る予定でしたが、自粛要請の中、日本中どのイベントも中止に追い込まれている状況ですので仕方がないことです。

大いに楽しみにしていましたが残念です。来年はぜひ開催出来ることを期待しましょう！

(加藤良一)